

赤十字新聞

The Red Cross Journal Japanese Red Cross Society publication

編集・発行/日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL.03-3438-1311 一部20円

6 June 2009

Vol.829 http://www.jrc.or.jp



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



一人ひとりがデュナンとなって

全国赤十字大会開催



日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、同名誉副総裁の常陸宮妃殿下、高田宮妃殿下をお迎えして、第71回全国赤十字大会が5月14日、東京・渋谷の明治神宮会館で開かれました。

今年は、全国から約2000人の社員やボランティア代表が参加。赤十字事業推進の功績者に贈られる有功章（金色、銀色）には個人59人、法

人39社が選ばれ、受章者を代表して東京都の横山賢悟さんから13人に皇后陛下からご授与されました。

また、北海道と奈良県の2つの奉仕団が社長表彰を受けました。

さらに赤十字思想誕生150周年を記念して発行された初刷切手が日本郵政株式会社の西川善文社長から贈られました。

先人の努力引き継ぎよう

あいさつした近衛忠輝社長は、アンリー・デュナンによって赤十字思想が誕生してから150年にわたる赤十字の歴史や役割に触れつつ、「日本赤十字社は、先人たちの努力により、世界に誇る多彩で大規模な事業を展開しています。これらの事業を引き継いでいくことは、我々に課せられた大きな責任です」と決意を表明。

その上で、「ここに今、デュナンがいたならば、何を思い、何をやるだろうか。一人ひとりがデュナンになったつもりで、そのことを考えるのが赤十字思想誕生150周年を記念する意味です」と呼びかけました。

名誉総裁皇后陛下からは、「赤十字思想150周年を節目に、改めて赤十字活動の根底

世界に届く社員の善意

体験発表では、ジンバブエ・コレラ救援活動と川口市立戸塚南小学校の青少年赤十字(JRC)委員会の活動が報告されました。

第二部では、日本赤十字社がケニア赤十字社と取り組んでいる「ケニアの子どもたちを救う地域保健強化事業-IHOP (Integrated Health Outreach Project)」について、3月に現地を訪問した赤十字広報特使の藤原紀香さんが体験や感想を交えながらリポート。「行くだけでも大変な奥地で、日赤から派遣され

た職員が頑張っていました。社員の皆さんの善意がそこに届いていることを今日ここで伝えたいです」と報告しました。

今年初めて企画された、社員によるリポートでは、運動月間広報ポスターに登場した5人が登壇。日ごろの活動を紹介し、日赤社員である

新型インフルエンザ
記事は3面に掲載

- 有功章受章者代表
- 三好通弘 (京都府京都市)
 - 武智操 (兵庫県尼崎市)
 - 今井陸雄 (鳥取県鳥取市)
 - 岩崎明温 (高知県高知市)
 - 松尾信義 (長崎県長与町)
 - 岩下泰司 (熊本県人吉市)

- 横山賢悟 (東京都中央区)
- 沼田淳 (北海道札幌市)
- 医療法人 正観会 御野場病院 (秋田県秋田市)
- 医療法人 八郷病院 八郷整形外科内科病院 (茨城県石岡市)
- 新潟県中央生コン株式会社 (新潟県燕市)
- 田畑宏継 (富山県富山市)
- 清川メッキ工業株式会社 (福井県福井市)

- 社長表彰受賞者
- 北海道北広島市赤十字奉仕団 (北海道北広島市)
 - 奈良県香芝市赤十字奉仕団 (奈良県香芝市)

いくことを、心よりの希望しておきます」とのおこぼれをいただきました。

この喜びや誇りを語りました。

今年で社員56年目になる千葉県の鎌田和子さんは、「私は社員として、ボランティアとして、より多くの方に赤十字を知っていただき、理解を深めていただきたいと考えています。そのために一日赤十字や、赤十字のつどいを開催し、また、小・中学校へ出向き、活動を通して地域の皆さんに赤十字思想を知ってもらおうようにしています」と述べました。

(各報告の詳細は2面)



赤十字運動月間 5月

レッドクロス情熱 全国で

紙芝居で子どもをくぎ付け

北海道

北海道支部は5月10日、札幌市内のショッピングモールを会場に『ふれ愛ステーション2009』を開催しました。60人余りの赤十字ボランティアの協力の下、赤十字に関するクイズやAED(自動体外除細動器)を用いた救急法の体験、災害非常食の試食、ヘルスチェックコーナーなど

「私たちが社員です」
フェスティバルは、「花巻市子どもフェスティバル」と併催されたもの。親子連れの人による紙芝居・人形劇が行われ、子どもたちはもちろん、大人までその温かな雰囲気引き込まれていました。

フェスタで子育て相談

岩手

岩手県支部では5月2日に市内2カ所で開催された「子育て相談」を開催しました。岩手県支部では5月2日に市内2カ所で開催された「子育て相談」を開催しました。岩手県支部では5月2日に市内2カ所で開催された「子育て相談」を開催しました。



盛岡市赤十字奉仕団の柴崎一恵委員長を先頭に街頭広報

若い力で運動月間を推進

埼玉

埼玉県支部は5月1日、JR浦和駅西口前で「私達も社

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「ひろげよう 赤十字の輪 (和)」
京都府支部では、支部創立120周年を記念したイベント「ひろげよう赤十字の輪 (和)」を5月10日、京都駅地下

「ひろげよう 赤十字の輪 (和)」
京都府支部では、支部創立120周年を記念したイベント「ひろげよう赤十字の輪 (和)」を5月10日、京都駅地下

「親子でワクワク 赤十字フェスタ」
岡山県支部は5月16、17日、倉敷市にあるイオンモールでフェスタを開催しました。赤十字の事業紹介をメインに、

「花のパレードを レッドクロスで 行進」
広島県支部は5月3日から5日、平和記念公園や平和大通り周辺で開催され、広島県支部は花の総合パレードに参加。赤十字ブースも設置し、フェスティバル来場者に赤十字をアピールしました。

「あなたのまわりに赤十字」の横断幕を持ってパレード

丸亀お城祭りでの 応急手当をPR

香川

城内では5月3、4日に障がいをもつ人、もたない人が出会いふれあう手作りの広場「愛の広場」が開かれ、香川県支部は赤十字イベントを実施しました。

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

「結ぶぎずな 地域とともに」をテーマに、「もつとクロス」赤十字フェスティバルが5月8、9日、福井赤十字病院で開催されました。フェスティバルは支部・病院・血液センターの各職員による実行委員会が昨年12月から準備。地域の方とのコラボ

25000人の 奉仕団員で キャンペーン

和歌山

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

和歌山県支部は5月3日、赤十字思想への国民理解を深め、赤十字を身近に感じてもらうためのイベント「赤十字ふれあい広場」を和歌山市内の大型ショッピングセンター

心肺蘇生法の訓練を実施



心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施

心肺蘇生法の訓練を実施



親子で救命講習

親子で救命講習

親子で救命講習

親子で救命講習



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



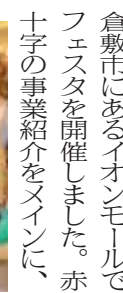
「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



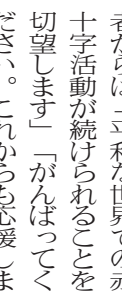
「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



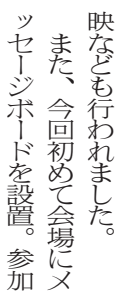
「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



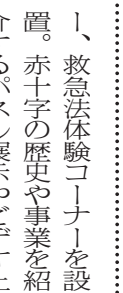
「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



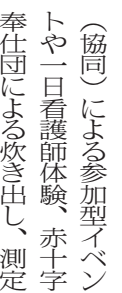
「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」



「私たちが社員です」

「私たちが社員です」

愛情もちより チャリティー バザー

徳島

徳島支部の語学奉仕団は5月9日、西国橋公園でチャリティーバザーを開催しました。天候にも恵まれ、多くの来場者で売り上げは3万2950円に。赤十字を紹介したパネルやポスターも会場に設置しました。

バザーには、語学奉仕団が集めた子ども服や時計・キーホルダー・食器などバラエティーにとんだ品物を陳列。お母さんが買い物をしている間に奉仕団員が子どもの相手をするなど、会場はなごやかな雰囲気にあふれました。

芸術で心を ちやんこでお腹を満たした春

日赤秘蔵巨匠 作品の美術展

宮崎

日本赤十字社が所蔵する絵画や陶芸作品を一般公開する「パールをぬいだー日赤秘蔵名品展」(主催)宮崎日日新聞、MRT宮崎放送、日赤宮崎支部)が宮崎県立美術館を会場に4月11日から26日の日程で開かれ、約1万5000人の見学者が訪れました。

美術展は、宮崎支部の120周年記念事業として企画されたもの。「心を癒す、愛を感じる作品」を通じて、「人間のいのちと健康、尊敬を守



見学に訪れた宮崎市立高岡中学校美術部のみなさん

る」という理念に基づく赤字思想と活動への理解を広げることが目的です。今回公開されたのは、日本赤十字社が創立100周年(昭和52年)の記念事業として、画家や陶芸家から寄贈を受け、所蔵している作品などの一部です。

日赤のために1年をかけて描

かれた東山魁夷や東郷青児の作品など巨匠49人の57作品が集められました。

大相撲榎山親 方が献血ルームの 一日所長

愛媛

愛媛県では4月23日、春の献血キャンペーンの一環として、愛媛県出身の元関脇玉春

の温かい人柄とちゃんこサービスのかいもあって、平日で日所長を務めた榎山親方は、「故郷に恩返しできれば」と自ら献血。通行人にちゃんこを振る舞いながら、「献血は健康な者にできる最大のボランティアです」と協力を呼びかけました。また、委嘱式後のフリートークでは、「質問時間がもう少し短くなれ



「榎山親方、ごつつあんでした」

金婚式を祝い、島 社会へ恩返し

徳

赤十字有功会員として赤字活動へ積極的な支援を続けている埴淵年秋さん、美奈子さんと夫妻が3月31日、結婚50年目の金婚式を迎えたのを記念して、徳島支部へ50万円を寄付されました。

1959年に結婚された埴



寄付を手渡す埴淵夫妻

を予定。頼りになる存在になれるよう力が入ります。

◆お父さんの献血—東郷輝美さん(福井市)
献血のお手伝いの時のこと。「病気で苦しんでいる人がいる。お父さんは元気だから献血できる。しばらく待つ」と男性が5、6歳の男の子に話していました。目頭が熱くなり、感心させられたひとこまでした。

6月号懸賞クイズ

問題① 赤十字大会で実践報告した川口市立戸塚南小学校では、JRC活動に参加するメンバーのことをどう呼ぶ?

問題② 愛媛県で4月23日で行われた献血キャンペーン。集まった方にふるまわれたのは?

問題③ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題④ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑤ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑥ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑦ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑧ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑨ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑩ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑪ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑫ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑬ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑭ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑮ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑯ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑰ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑱ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑲ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

心からの寄付に感謝

れた贈呈式でご夫妻は、「いろいろな方にお世話になってきました。寄付は社会への恩返しのもりです」と述べ、三木章男事務局長に目録を手渡しました。

3人が寄付

福

看護師資格を持つ3人の臨時救護員の方が5月12日、福井県支部を訪れ、「赤十字事業に役立ててほしい」と合わせて50万円を寄付しました。

寄付をされたのは、中川ト



前・中川さん、後列右から小林さん、藤澤さん

ミ子さん、小林美代子さん、藤澤昌子さん。3人は同支部の日赤有功会員にもなっています。「昨年の120周年大会は感動しました。これからも支部発展に努めてほしい」と赤十字への思いを職員に託しました。

6月号懸賞クイズ

問題① 赤十字大会で実践報告した川口市立戸塚南小学校では、JRC活動に参加するメンバーのことをどう呼ぶ?

問題② 愛媛県で4月23日で行われた献血キャンペーン。集まった方にふるまわれたのは?

問題③ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題④ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑤ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑥ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑦ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑧ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑨ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑩ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑪ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑫ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑬ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑭ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑮ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑯ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑰ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑱ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

問題⑲ 赤十字新聞6月号の「記事の中で」の「赤十字新聞6月号」の記事の中で、その旨もご記入下さい。

前・中川さん、後列右から小林さん、藤澤さん

ミ子さん、小林美代子さん、藤澤昌子さん。3人は同支部の日赤有功会員にもなっています。「昨年の120周年大会は感動しました。これからも支部発展に努めてほしい」と赤十字への思いを職員に託しました。

3人が寄付

看護師資格を持つ3人の臨時救護員の方が5月12日、福井県支部を訪れ、「赤十字事業に役立ててほしい」と合わせて50万円を寄付しました。

寄付をされたのは、中川ト

ミ子さん、小林美代子さん、藤澤昌子さん。3人は同支部の日赤有功会員にもなっています。「昨年の120周年大会は感動しました。これからも支部発展に努めてほしい」と赤十字への思いを職員に託しました。

問題①の答え ダンサ

問題②の答え コンダテ

問題③の答え コンダテ

問題④の答え コンダテ

問題⑤の答え コンダテ

問題⑥の答え コンダテ

問題⑦の答え コンダテ

問題⑧の答え コンダテ

問題⑨の答え コンダテ

問題⑩の答え コンダテ

問題⑪の答え コンダテ

問題⑫の答え コンダテ

問題⑬の答え コンダテ

問題⑭の答え コンダテ

問題⑮の答え コンダテ

問題⑯の答え コンダテ

問題⑰の答え コンダテ

問題⑱の答え コンダテ

問題⑲の答え コンダテ

問題⑳の答え コンダテ

問題㉑の答え コンダテ

問題㉒の答え コンダテ

問題㉓の答え コンダテ

問題㉔の答え コンダテ

問題㉕の答え コンダテ

問題㉖の答え コンダテ

問題㉗の答え コンダテ

問題㉘の答え コンダテ

問題㉙の答え コンダテ

問題㉚の答え コンダテ

問題㉛の答え コンダテ

問題㉜の答え コンダテ

問題㉝の答え コンダテ

問題㉞の答え コンダテ

問題㉟の答え コンダテ

問題㊱の答え コンダテ

問題㊲の答え コンダテ

問題㊳の答え コンダテ

問題㊴の答え コンダテ

問題㊵の答え コンダテ

問題㊶の答え コンダテ

問題㊷の答え コンダテ

問題㊸の答え コンダテ

問題㊹の答え コンダテ

問題㊺の答え コンダテ

問題㊻の答え コンダテ

問題㊼の答え コンダテ

問題㊽の答え コンダテ

問題㊾の答え コンダテ

問題㊿の答え コンダテ

問題㉑の答え コンダテ

問題㉒の答え コンダテ

問題㉓の答え コンダテ

問題㉔の答え コンダテ

問題㉕の答え コンダテ

問題㉖の答え コンダテ

問題㉗の答え コンダテ

問題㉘の答え コンダテ

問題㉙の答え コンダテ

問題㉚の答え コンダテ

問題㉛の答え コンダテ

問題㉜の答え コンダテ

問題㉝の答え コンダテ

問題㉞の答え コンダテ

問題㉟の答え コンダテ

問題㊱の答え コンダテ

問題㊲の答え コンダテ

問題㊳の答え コンダテ

問題㊴の答え コンダテ

問題㊵の答え コンダテ

問題㊶の答え コンダテ

問題㊷の答え コンダテ

問題㊸の答え コンダテ

問題㊹の答え コンダテ

問題㊺の答え コンダテ

問題㊻の答え コンダテ

問題㊼の答え コンダテ

問題㊽の答え コンダテ

問題㊾の答え コンダテ

問題㊿の答え コンダテ

問題㉑の答え コンダテ

問題㉒の答え コンダテ

問題㉓の答え コンダテ

問題㉔の答え コンダテ

問題㉕の答え コンダテ

問題㉖の答え コンダテ

問題㉗の答え コンダテ

問題㉘の答え コンダテ

問題㉙の答え コンダテ

問題㉚の答え コンダテ

問題㉛の答え コンダテ

問題㉜の答え コンダテ

問題㉝の答え コンダテ

問題㉞の答え コンダテ

問題㉟の答え コンダテ

問題㊱の答え コンダテ

問題㊲の答え コンダテ

問題㊳の答え コンダテ

問題㊴の答え コンダテ

問題㊵の答え コンダテ

問題㊶の答え コンダテ

問題㊷の答え コンダテ

問題㊸の答え コンダテ

問題㊹の答え コンダテ

問題㊺の答え コンダテ

問題㊻の答え コンダテ

問題㊼の答え コンダテ

問題㊽の答え コンダテ

問題㊾の答え コンダテ

問題㊿の答え コンダテ

問題㉑の答え コンダテ

問題㉒の答え コンダテ

問題㉓の答え コンダテ

問題㉔の答え コンダテ

問題㉕の答え コンダテ

問題㉖の答え コンダテ

問題㉗の答え コンダテ

問題㉘の答え コンダテ

問題㉙の答え コンダテ

問題㉚の答え コンダテ

問題㉛の答え コンダテ

問題㉜の答え コンダテ

問題㉝の答え コンダテ

問題㉞の答え コンダテ

問題㉟の答え コンダテ

問題㊱の答え コンダテ

問題㊲の答え コンダテ

問題㊳の答え コンダテ

問題㊴の答え コンダテ

問題㊵の答え コンダテ

問題㊶の答え コンダテ

問題㊷の答え コンダテ

問題㊸の答え コンダテ

問題㊹の答え コンダテ

問題㊺の答え コンダテ

問題㊻の答え コンダテ

問題㊼の答え コンダテ

問題㊽の答え コンダテ

問題㊾の答え コンダテ

問題㊿の答え コンダテ

問題㉑の答え コンダテ

問題㉒の答え コンダテ

問題㉓の答え コンダテ

問題㉔の答え コンダテ

問題㉕の答え コンダテ

問題㉖の答え コンダテ

問題㉗の答え コンダテ

問題㉘の答え コンダテ

問題㉙の答え コンダテ

問題㉚の答え コンダテ

問題㉛の答え コンダテ

問題㉜の答え コンダテ

問題㉝の答え コンダテ

問題㉞の答え コンダテ

問題㉟の答え コンダテ

問題㊱の答え コンダテ

問題㊲の答え コンダテ

問題㊳の答え コンダテ

問題㊴の答え コンダテ

問題㊵の答え コンダテ

問題㊶の答え コンダテ

問題㊷の答え コンダテ

問題㊸の答え コンダテ

問題㊹の答え コンダテ

インドネシア ジャワ島中部地震復興支援

3年間の事業も終盤

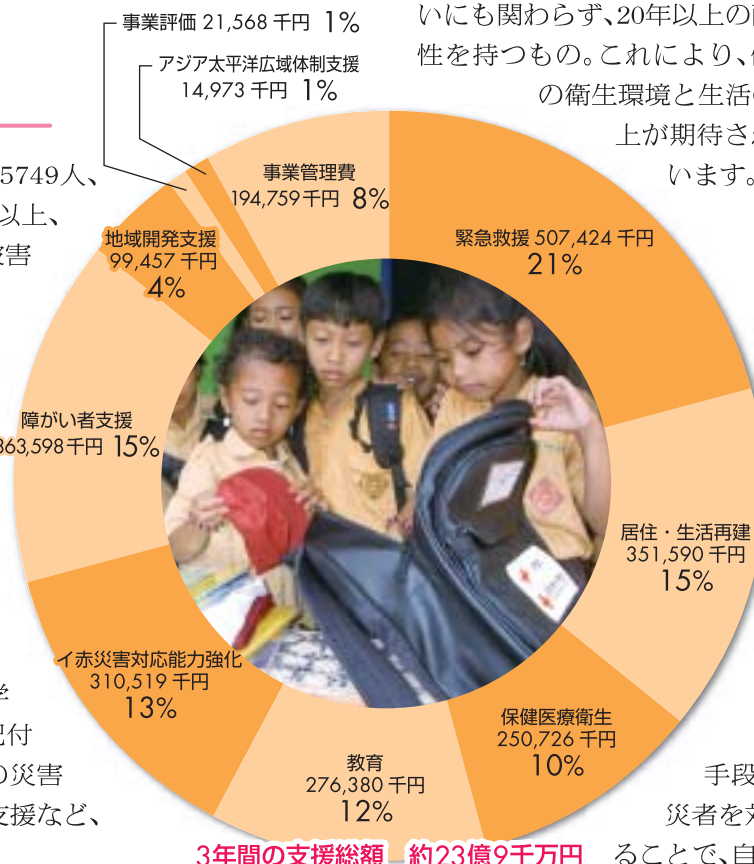
2006年(平成18年)5月27日に発生したインドネシア・ジャワ島中部地震で、日本赤十字社は発生直後の緊急救援活動や3年間にわたる数々の復興支援活動を実施してきました。現在本事業の終了に向け、事業の最終とりまとめ及び評価が実施されています。

多彩な援助で存在感

インドネシア・ジャワ島中部地震では死者5749人、負傷者3万8000人以上、全壊家屋12万7000棟以上、その他被災家屋45万棟以上を数える甚大な被害が生じました。

緊急救援活動に続く復興支援活動では、さまざまな分野へのきめ細かな支援を実施してきました。居住・生活再建分野では、家屋を失った被災者へ工具や建設資材などを配付。保健医療衛生分野については、9カ所の地域保健センター再建や呼吸器疾患専門病院の入院棟建設などに取り組みました。

教育施設が受けた被害も甚大で、小学校15校の校舎再建や9万6000人余りの児童への学童キット(制服、文房具、かばん、雨具など)配付などを実施。この他、インドネシア赤十字社の災害対応能力強化支援、障がい者や地域開発への支援など、多方面にわたる事業を展開してきました。



雨水貯水槽設置事業がインドネシア版ギネスに認定

地域開発支援として日赤が実施してきた雨水貯水槽設置事業がこのほど、インドネシア記録博物館から「住民の助け合い共同作業によって作られた最大の貯水槽」として、認定登録(ムリ賞=インドネシア版ギネス)を受けました。

ジョグジャカルタ州東部のパトゥック、グダンサリ両郡は地震で水源がほとんどかかれてしまい、生活用水を含めた水の確保が死活問題となる事態に。

このため日赤が建設費用を支援。2007年8月から今年3月までの間、10村約3万3000人の住民の共同作業によって、1023基の雨水貯水槽が建設されました。貯水槽は一基についての工期が4日と短いにも関わらず、20年以上の耐久性を持つもの。これにより、住民の衛生環境と生活の向上が期待されています。



▲インドネシア版ギネスを受賞した雨水貯水槽

被災者の自立促した日赤支援

ジャワ島中部地震への復興支援でも、被災者自らが生活再建の道筋を切り開くための支援活動が目立ちました。

雨水貯水槽の建設と同様に仮設住宅の建設でも、「ゴトンヨロン」と呼ばれる集落ごとの自助組織を利用し、被災者自らの手で建設する方法がとられました。この結果、建設日数の短縮などの成果がありました。日赤はこれらの事業に対し、必要な工具や建材などの資機材や技術的な支援を提供しました。

身障者生業支援事業では、被災によって自営の手段を失った障がい者や、地震で障がいを被った被災者を対象に、仕事に必要な資機材や職業訓練を提供することで、自営業の再建・開始を促進しました。

援助受ける側への敬意忘れずに 現地駐在員 松永 一

自営業を営む身障者に事業の開始や再開を支援する「身障者生業支援事業」を通じて、援助のあり方を改めて学ぶことができました。

支援のための調査を行う前の私は、「八方ふさがりで、途方にくれている人が多いはず」と思っていました。ところが身障者の多くは、自分の商売の問題点や改善点を把握して、生きるためには何をすべきなのかを真摯に考えていたのです。「大学の寮が近くにあるから、ラーメン

屋を現在の日用品店に併設したい」「お店の前が小学生の通学路なので、子どもたちに人気のジュースを売り出したい」などみなさん具体的なアイデアを持っていました。「困っている彼らにアドバイスをしなければ」という私の考えは浅はかでした。

援助では、援助する側の押しつけや先入観が優先しがちです。そこに潜んでいるのは、援助を受ける人々を対等に扱わず、自分たちよりも下

にあるというごう慢な気持ちです。相手の尊厳を守り、彼らの誇りに敬意を払うために、一人ひとりの話に耳を傾ける——ジャワ島での支援体験は、私にそのことの大切さを改めて教えてくれました。



▲「生業支援の聞きとり調査をする松永駐在員(右)」



タンザニア 難民支援事業

関塚美穂看護師
(名古屋第二赤十字病院)
が帰国報告

文化・価値観は異なっても、 命を救う気持ちは同じ

アフリカ東部のタンザニア連合共和国は、1994年にルワンダからの難民を受け入れて以来、最大時で80万人が難民キャンプで暮らすアフリカ最大の難民受入国です。このアフリカの地にも日本赤十字社は看護師などを毎年派遣。このほど1年間の任務を終えた関塚美穂看護師が帰国報告を行いました。

◆比較から理解へ

「最初のうちは、現地と日本との違いを比較したりして葛藤もありました」

昨年4月から1年余りにわたり、日赤からの資金がきちんと施行されるようにモニタリングし、保健医療面でのアドバイスをす

めに派遣されていた関塚看護師はこう語ります。「ちょっと待って」が最悪数カ月になってしまう時間感覚など日本の常識が通用しないこともあったとい



そんなある日、関塚さんの目の前で患者さんが心肺停止。「私はすぐに患者さんに心臓マッサージを始め、ドクターや看護師、スタッフも奔走しました。その方は助かりませんでした。その時に『命を救いたい思いは一緒なんだ』と分かりました。緊急事態に即座に対応し、私のアドバイスで一生懸命動いてくれた現地の人々、仲間になれたと感じました」

それからは比較ではなく、「ここでもこんなことまでできる」と考えるようになったといいます。「支援で大切なのは、相手の立場や状況を理解すること。そして良好な人間関係です。それがなければ、うまくいきませんよ

ね」

実は、日赤からタンザニアへの派遣は、これまで3カ月から6カ月の短期がほとんど。関塚さんから1年の長期に変更になりました。「1年間だったからこそ、一定の役割を果たすことができた。看護師としてだけでなく、管理部門の仕事は大きな経験になりました」と関塚さんは振り返ります。

◆11年間にわたり支援継続

90年代の後半、タンザニアには国境を接する各国からの難民が相次いで流入。難民キャンプでは、悪質な衛生環境の下、コレラなどが多発する事態になりました。

タンザニア赤十字社は、国際的なサポートを受け、97年から難民キャンプの一部で保健衛生サービスを開始しました。日赤も、97年度から支援をスタート。これまでの11年間に約1億7000万円の資金支援と、医師や助産師、看護師など計11人を派遣し、安全な水の供給や医薬品の提供、保健医療施設の補修、保健衛生知識の普及活動などに取り組んでいます。